

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	図画工作	開隆堂	ずがこうさく 1・2 上 わくわくするね ずがこうさく 1・2 下 みつけたよ 図画工作 3・4 上 できたらいいな 図画工作 3・4 下 力を合わせて 図画工作 5・6 上 心をひらいて 図画工作 5・6 下 つながる思い
取 扱 内 容	<p>○ 造形遊びをする活動については、第 1,2 学年では砂や落ち葉に触れながら感じたことを行ったり、紙をねじったり、さいたりすること、第 3,4 学年ではビニルに空気を入れつなげたり、段ボールの切り方や組み合わせ方を工夫したりすること、第 5,6 学年では場所の形や使用方を捉えて変身させたり、光と水のよさを生かし、組み合わせることを通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わうことができるようになっている。</p> <p>○ 絵や立体、工作に表す活動については、第 1,2 学年では絵や指を使った描き方を工夫して絵に表したり、形や色、紙の貼り方を工夫しておめんを作ったりすること、第 3,4 学年では色々な布の形や色から作りたいものを考えたり、材料に光を通した感じから、作りたいランプを考えたりすること、第 5,6 学年では季節を感じて表したいことや表し方を考えたり、液体ねん土で白くした形から表したいことを考えたりすることを通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わうことができるようになっている。</p> <p>○ 鑑賞する活動については、第 1,2 学年では友達の描いた好きなものを見て楽しんだり、たからものの形や色などに気付き、大切にしている理由について友達と交流したりすること、第 3,4 学年では作品に描かれた生き物から想像を広げてお話を考えたり、作品の形や色から感じ取ったことについて、互いの見方や感じ方のよさや違いを味わったりすること、第 5,6 学年では墨や筆の色々な技から作品のよいところを考えたり、作品に描かれている町の様子から色々なことを想像して、見方や感じ方を深めたりすることを通して、面白さや楽しさを感じ取ることができるようになっている。</p> <p>○ 〔共通事項〕については、第 1,2 学年では身の周りにあるでこぼこを探してこすり出したり、のびした絵の具の形や色から表し方を考えたりすること、第 3,4 学年では影の形から表したいことを考えたり、木の触感から感じたイメージの表し方を考えたりすること、第 5,6 学年では人の動きや形を捉えて表し方を工夫したり、あったらいいなと思う新製品を考え、協力してアイデアを考え表し、楽しんだりすることを通して、形や色などを基に自分のイメージをもつことができるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第 1,2 学年では、「あなでつながる二つの世界」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに表と裏の二つの世界を考え 友だちと話し合い、作品を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第 3,4 学年では、「みんなでつくろうねん土ランド」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、どんな作品にしたいのかを考え、友だちと話し合い、アイデアを交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第 5,6 学年では、「学校おすすめガイド」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、学校のおすすめしたいものを考え、友だちと話し合い、学校の色々なよさを交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>		

<p>内容の構成・排列</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、第1,2学年では箱と箱を組み合わせて立体に表す活動、身近な自然を材料に使う造形遊びをする活動など、第3,4学年では枝を材料に使う造形遊び、身の周りで出会う花を絵に表す活動など、第5,6学年では学校のお気に入りの場所を絵に表す活動、ビニルひもを使った造形遊びをする活動など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように構成し、発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、①題材ごとのページ数は、「絵や立体、工作に表す活動」が、第1,2学年が72ページ、第3,4学年が72ページ、第5,6学年が68ページ、「造形遊びをする活動」が、第1,2学年が16ページ、第3,4学年が12ページ、第5,6学年が8ページ、「鑑賞する活動」が、第1,2学年が16ページ、第3,4学年が20ページ、第5,6学年が32ページ、総ページ数が、第1,2学年が128ページ、第3,4学年が128ページ、第5,6学年が132ページとなっている。②日本の文化や伝統について取り上げているページ数は、第1,2学年が1ページ、第3,4学年が2ページ、第5,6学年が2ページとなっている。③北海道とかかわりのある内容（北海道に関する作品、図、画像等）を取り上げている箇所数は、第1,2学年が1ページ、第3,4学年が2ページ、第5,6学年が1ページとなっている。
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ いきいきと活動する児童の姿の写真を掲載したり（全学年）、地域の伝統文化や材料などを生かした造形活動を取り上げた「みんなのギャラリー」を掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「図画工作を学ぶ皆さんへ」を設けたり（全学年）、「未来へつながる図画工作」を設けたり（第5,6学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができる工夫がなされている。 ○ 題材ごとに三つの育てたい資質・能力を示した「学習のめあて」を掲載したり（全学年）、カラーユニバーサルに配慮したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られているとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、材料用具の使い方や作品動画を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	図画工作	日文	ずがこうさく 1・2 上 まるごとたのしもう ずがこうさく 1・2 下 まるごとたのしもう 図画工作 3・4 上 ためす見つける 図画工作 3・4 下 ためす見つける 図画工作 5・6 上 わたしとひびき合う 図画工作 5・6 下 わたしとひびき合う
取 扱 内 容	<p>○ 造形遊びをする活動については、第1,2学年では砂や土に触れながら感じたことを行ったり、細い紙を切ってつなげたりすること、第3,4学年では段ボールに切り込みを入れて組み立てたり、身近な材料に光をあて、影の形を組み合わせたりすること、第5,6学年では身近な場所にある特徴を捉えてつくりかえたり、雪を固めて積み上げるなど自然の特徴を捉えたりすることを通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わうことができるようになっていく。</p> <p>○ 絵や立体、工作に表す活動については、第1,2学年では紙を破いてできた形を並べ絵に表したり、楽しかったことや頑張ったことをねん土で表したりすること、第3,4学年では用具を使って切り出したねん土を組み合わせたり、彫刻刀で板を彫った線や形から表したいことを考えたりすること、第5,6学年では電動のこぎりを使い自由に切った板の形を組み合わせたり、材料の質感を感じながら組み合わせたりすることを通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わうことができるようになっている。</p> <p>○ 鑑賞する活動については、第1,2学年では身の回りの自然や身近な物の触感を味わい言葉で表現したり、身の回りの草花を見つけ会話を想像し交流したりすること、第3,4学年では身近な土の色や触感を感じ取ったり身の回りの形や色を写真に撮影し、形や色のよさを感じ取ったり交流したりすること、第5,6学年では友だちの作品や考えに触れ自分の思いを伝えたり、身の回りにある繰り返しの模様を見てよさや美しさについて話し合ったりすることを通して、面白さや楽しさを感じ取ることができるようになっている。</p> <p>○ 「共通事項」については、第1,2学年では紙を折ったり切ったりして紙を立たせたり、紙でつくった形を写してできた形や色を楽しんだりすること、第3,4学年では紙の表と裏に絵を描き、紙を立ち上がらせたり、のこぎりを使って切った木の形を組み合わせる立体に表したりすること、第5,6学年では箱に穴を開け暗い中に差し込む光から想像する世界を表したり、今日的な社会問題を踏まえた未来の町づくりを計画し模型で表したりすることを通して、形や色などを基に自分のイメージをもつことができるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第1,2学年では、「カラフルいろみず」の題材において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、色水を使いながらしてみたいことを考え、友だちと話し合い、色のつくり方を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第3,4学年では、「これでかきたい」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、用途に合わせた用具の使い方を考え、友だちと話し合い、用具の使い方を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第5,6学年では、「自然を感じるすてきな場所」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自然の材料の形や色の特徴を考え、場所をどのようにつくりかえるかを交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>		

<p>内容の構成・排列</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、第1,2学年では砂や土の造形遊び、身近な自然を観察する活動など、第3,4学年ではひもを使った造形遊び、段ボールを使った立体に表す活動など、第5,6学年では日常的に使用する道具に形や色を施す工作や、自然を感じる造形遊びの活動など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫がなされている。また、北海道に関わりの深い雪を使った造形遊びが取り上げられている。 ○ 内容の分量については、①題材ごとのページ数は、「絵や立体、工作に表す活動」が、第1,2学年が62ページ、第3,4学年が58ページ、第5,6学年が68ページ、「造形遊びをする活動」が、第1,2学年が17ページ、第3,4学年が12ページ、第5,6学年が10ページ、「鑑賞する活動」が、第1,2学年が12ページ、第3,4学年が13ページ、第5,6学年が8ページ、総ページ数が、第1,2学年が132ページ、第3,4学年が128ページ、第5,6学年が138ページとなっている。②日本の文化や伝統について取り上げているページ数は、第1,2学年が2ページ、第3,4学年が2ページ、第5,6学年が11ページとなっている。③北海道と関わりのある内容（北海道に関する作品、図、画像等）を取り上げている箇所数は、第1,2学年が0ページ、第3,4学年が0ページ、第5,6学年が5ページとなっている。
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業での児童の表情や試行錯誤する情景写真を掲載したり（全学年）、全国のさまざまな造形活動や美術館の取組、伝統工芸、美術作品などを掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「教科書の使い方」を設けたり（全学年）、「図画工作での学びをふり返ってみよう」を設けたり（第5,6学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができる工夫がなされている。 ○ 題材ごとに三つの育てたい資質・能力を示した「学習のめあて」を掲載したり（全学年）、カラーユニバーサルに配慮したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られているとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、材料用具の使い方や作品動画を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。